

1977・12 NO.130 Vol.11 NO.12

●昭和52年10月20日印刷

●昭和52年12月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和  
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

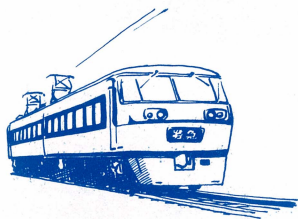
(株) 鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



日本には民間資本による鉄道である  
民営鉄道(略称‘民鉄’)——いわ  
ゆる私鉄が全国に103社もあり  
その路線延長は5,200kmに達して  
いる。路線において日本の鉄道の  
約20%を占め 国鉄が幹線輸送を  
おもな使命としているのに対し  
私鉄は大都市周辺および一地方の  
足としての役割を果たしているこ  
とが 大きな特色である。

私鉄のもう一つの特色は 民営企  
業であるために‘営利’が運営の大  
切な要素となっていることであろ  
う。とくに大都市周辺では競合他  
社や国鉄との競争 地方ではバス  
や国鉄との競争があり 交通機関  
としての条件は国鉄に比べて一般  
にきびしいといえる。旅客誘致に  
真剣なのはもちろん 関連企業の  
育成やサイドビジネスも盛んであ  
り 鉄道部門より関連事業のほう  
が活発な会社も少なくない。また  
鉄道だけを見ても 最大の商品で  
ある列車や車両に力を入れている  
のも私鉄の特色の一つで サービス  
面を含めて国鉄にも見習ってほ  
しい点が たくさんある。

きびしさを増す経済事情のなかで  
公共機関としての使命にいかに応  
えてゆくか——それが全私鉄に共  
通する今後の最大の課題であらう

定価530円  
〒60円

## 1977-12 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 監査報告書と国鉄
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)

### ●特集 現代 日本の私鉄

★カラー・グラフ

#### 15 エレガント・レディ

#### 20 日本の私鉄 北から南から

編集部

#### 41 (資料編)私鉄現況報告

編集部

#### 49 私鉄の優等列車

吉川文夫

#### 64 座談会 関東の電車 関西の電車

高田隆雄/亀井一男/中村寛一  
吉川文夫/吉村忠晃

#### 74 東武の貨物列車

本島三良

#### 82 近畿日本鉄道・北勢線

徳田耕一

#### 85 装本芸術と汽車⑥

佐々木桔梗

#### 97 国鉄の収支係数をさぐる

種村直樹

#### 102 トップ・アングル

●レールウェイ・トピックス

#### 104 寝台特急の25系化進む

編集部

#### 119 リニアモーターカーの発達式

深水宗孝

#### 107 レールファン・ノートから② 飽きない鉄道の趣味

本島三良

#### 120 汽車会社のディーゼル機関車製番表(続)

#### 126 車両とともに30年⑪

田邊幸夫

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(108)◆新刊紹介/海外雑誌紹介(109)◆魚眼/ズームレンズ(110)  
◆マスコミと鉄道(111)◆タブレット(112)◆Q & A/鉄道友の会だより(115)◆車  
両基地/伝言板(116)◆R Jクイズ/鉄道記事ざっくばらん(117)◆次号のお知らせ/  
こちらジャーナル編集部/乗務員室(118)

表紙写真／風を切る赤い電車(京浜急行電鉄)

カメラ・編集部